

# 保健総務課



## 保健総務課業務概要

### 1 地域保健の総合的な推進

船橋市地域保健推進協議会を開催し、地域保健対策に関する事項を協議した。また、医師・保健師・管理栄養士等を目指す学生の地域保健実習を行った。

### 2 厚生統計調査業務

厚生行政の施策等の基礎資料を得るため、人口動態調査・国民生活基礎調査などを実施した。なお、調査結果は保健所事業年報の作成にも参考とした。

### 3 災害医療対策

医療救護体制の整備を進め、発災直後の応急医療だけでなく、避難所生活の長期化にも対応できるよう、感染症予防や心のケアなどを取り入れた災害医療対策を図る。

### 4 健康危機管理対策

感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物その他何らかの原因により住民の生命や健康を脅かす健康被害について、その発生予防に努めるとともに、発生時には被害の拡大を抑えるため情報の収集及び提供・医療救護・防疫対策等の対応を図る。

また、平時より地域の医療機関や県等との連携を図り健康危機管理体制の整備に努める。

### 5 医事薬事業務

医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から、医療法や医薬品医療機器等法等に適合し、適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

また、船橋市医療安全支援センターで市民等から医療に係る相談、苦情等を電話等で受け付けた。

### 6 検査業務

検査業務は、臨床検査、微生物学的検査、食品衛生検査、環境衛生検査に大きく分け実施している。

臨床検査としては、原子爆弾被爆者に対する健康診断としての尿検査、結核の予防対策及び接触者健診としてのクオンティフェロン(QFT)検査及び喀痰検査、エイズ予防対策としてHIV抗体検査を実施した。また、HIV抗体検査受付者のうち、クラミジア抗体検査、梅毒抗体検査を希望者に対して実施した。

微生物学的検査としては、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく病原微生物検査、感染症等の予防を目的とした食品関係従事者等の腸内細菌検査を実施した。

食品衛生検査としては、食品衛生法に基づき衛生指導課が収去した食品について、微生物学的検査と理化学的検査を実施した。微生物学的検査については、細菌数及び病原起因菌について検査を実施した。理化学的検査については、保存料・甘味料等の食品添

加物について検査を実施した。

また、食中毒及び有症苦情等に関して微生物学検査及び理化学検査を実施した。

環境衛生検査としては、レジオネラ属菌の感染予防を目的として公衆浴場等の検査を実施した。

## 7 結核予防事業

船橋市の結核新登録患者数は140名（平成28年）で、罹患率は人口10万対22.3と、千葉県の実績14.5を大きく上回っている。

保健所では結核患者数、罹患率の減少に向けて以下のような事業を行っている。

患者発生時には速やかに患者を訪問し、患者指導及び情報収集、調査を行い感染の疑いがある者に対しては結核接触者健康診断を実施している。治療に必要な患者には、適正な医療の普及を図り、申請に基づき医療費の公費負担を行っている。また、結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止すると共に、多剤耐性結核の発生を予防するため、地域DOTS支援（直接服薬支援）事業として、保健師やDOTS支援員による訪問DOTS、訪問できない患者に対しては薬局DOTSを導入し、個々の患者に合わせた服薬支援を行い、治療の完遂に努めている。

## 8 感染症予防事業

平成11年4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の予防及びまん延防止のための事業を実施している。

感染症発生動向調査事業については同法第三章による施策として、感染症発生情報の収集と分析、公開することを目的とした事業として位置づけられており、医療関係者の協力のもと患者情報をオンラインシステムで登録している。

また、3類感染症に伴う調査を19件、その他施設内発生に伴う調査を12件実施し、まん延防止対策に努めた。

麻しんは平成22年11月の国の通知により、可能な限り検体を確保し千葉県衛生研究所にてPCR検査を実施することとなり、各医療機関の協力のもと継続して実施している。

蚊媒介感染症対策事業として、「0のつく日はボウフラ・ゼロ」運動を実施し、蚊の幼虫の発生源対策の啓発を行い、また蚊の定点モニタリングとして密度調査及びデングウイルス・チクングニアウイルス・ジカウイルス保有調査を行った。

## 9 エイズ予防事業

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針に基づき、HIV感染の予防と早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努めている。

千葉県の後天性免疫不全症候群の報告数は50件（平成28年）であり、内HIV感染者は31件、AIDS患者は19件となっており、感染の予防・早期での発見が重要となっている。

啓発事業として、正しい知識の普及啓発を推進するため、船橋市エイズ講習会等講師派遣事業を開始。希望のあった学校等を対象に、講師を派遣した。また、市内高等学校学園祭等での啓発活動を実施している。HIV検査については、月2回の即日検査、うち4回は休日検査を実施するとともに検査日に併せてエイズカウンセラーによる相談を実施している。

## 1 0 肝炎ウイルス検査事業

全国の肝炎持続感染者はB型が110万人～140万人、C型が190万人～230万人と推定されるが、感染時期が明確でないことや自覚症状がないことが多く適切な時期に治療を受ける機会がなく本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多いことが問題となっている。

保健所では肝炎ウイルスに感染リスクを有する者、受診機会のない市民を対象に肝炎ウイルス検査を実施し、潜在している感染者を早期発見できるよう努めている。陽性者は早期治療につながるよう医療機関を紹介している。また肝炎等に関する相談業務も実施している。

## 1 1 千葉県肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）への公費による助成制度を実施している。

## 1 2 難病対策事業

難病法に基づく指定難病医療費（特定医療費）助成制度、千葉県特定疾患治療研究事業及び千葉県先天性血液凝固因子障害等治療研究事業等の千葉県実施の事業に係る窓口業務並びにそれに伴う事務処理を行っている。

難病患者及びその家族に対する相談支援については、窓口・電話・訪問による相談及び、関係機関と連携をとりながら療養者の状況やニーズに応じた支援を行っているほか、地域の保健師や看護師等を訪問相談員として委嘱し、訪問支援を行っている。

また、「難病患者と家族のつどい」、個別医療相談等を企画、実施しているほか、難病患者の療養環境を取り巻く様々な課題に対応するため、平成25年度に地域の神経内科医及び在宅診療に携わる医師と意見交換会等を開催し、さらに26年度には介護支援専門員、訪問看護、病院ケースワーカーの代表者を加え、「ふなばし神経難病サポートネットワーク」を立上げ、課題の解決や医療連携のあり方について検討している。

## 1 3 小児慢性特定疾病児童等支援事業

慢性疾患を抱え、その治療が長期間にわたる子どもやその家族について、児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病医療費の支給に係る窓口業務やそれに伴う事務処理を行っている。

また、児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病児童等自立支援事業に係る相談支援等を行っている。さらに、平成27年度より地域における小児慢性特定疾病児童等の支援内容等につき、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、特別支援学校等教育機関職員、福祉・療育行政機関職員、保健行政機関職員と「慢性疾病児童等の地域支援に関する意見交換会」を実施し連携を図っている。

## 1 4 難病患者援助金支給事業

難病患者の費用負担の軽減を図り、難病患者の福祉の増進に資することを目的とする市の単独事業として、千葉県特定医療費（指定難病）受給者証、船橋市小児慢性特定疾病医療受給者証または船橋市小児指定疾病医療費助成登録証等を交付された方を対象に、年2回、通院（月1日以上、もしくは月20日未満の入院）、入院（月20日以上、連続した入院）に応じて、支給している。

### 1 5 原子爆弾被爆者援護事業

地方自治法に基づく千葉県知事の事務処理の特例及び協定により認定申請受付や被爆者手帳の交付、各種手当支給申請の窓口業務を行うほか、保健所を会場にした原子爆弾被爆者健康診断を年2回実施している。また、市の単独事業として、原爆被爆者見舞金の支給を行っている。

### 1 6 骨髄移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）の登録や移植に関する市民の理解を深めるため、イベント等を通じ啓発活動を実施している。

また、平成28年4月1日から骨髄等移植ドナーとドナーが従事している事業所に対して奨励金を交付している。

### 1 7 精神保健福祉事業

市民の精神保健の向上、精神障害者の福祉の推進を図るため、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく相談、訪問を実施するとともに、警察官の通報等の受理対応や精神障害者社会復帰事業、普及啓発や家族支援事業など各種事業を展開し、入院届等の事務、成年後見申し立てや利用支援事業等を行っている。

そして精神障害への正しい知識の普及のため、当課が事務局となり船橋市精神保健福祉推進協議会による各種住民啓発事業を実施している。

## 1 地域保健の総合的な推進

### (1) 船橋市地域保健推進協議会

母子保健や老人保健に係る施策及び保健所の運営等に関することを協議するために設置し協議会を開催した。

開催年月	主な協議内容
平成 29 年 1 月	地域保健対策に関する主要な事業報告等について

### (2) 学生実習実施状況

学 校 名 等	人 数 (人)	日 数 (日)
<b>【看護師・保健師】</b>		
船橋市立看護専門学校	42	28
独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院付属看護専門学校	44	1
了徳寺大学	12	7
順天堂大学	4	7
千葉県立保健医療大学	46	26
東京医科歯科大学	2	2
<b>【医師】</b>		
千葉大学	2	2
帝京大学	4	1
<b>【栄養士】</b>		
東京家政大学	3	3
淑徳大学	1	1
順天堂大学	4	4
千葉県立保健医療大学	1	1
聖徳大学	1	1
帝京平成大学	1	1
和洋女子大学	6	6
<b>【歯科衛生士】</b>		
東京歯科大学歯科衛生士専門学校	31	18
<b>【獣医師】</b>		
日本大学	1	5
計	205	114

## 2 衛生統計調査

(1)～(3)については厚生労働省人口動態調査の調査票情報を利用

### (1) 人口動態総覧

(単位：人)

区分 年次	出生				死亡								自然増加					
	実数	男	女	率 (人口千対)	実数	男	女	率 (人口千対)	乳児死亡 (1年未満)				新生児死亡 (生後28日未満)				実数	率 (人口千対)
26	5,313	2,751	2,562	8.6	4,515	2,461	2,054	7.3	15	13	2	2.8	5	4	1	0.9	798	1.3
27	5,298	2,677	2,621	8.5	4,735	2,661	2,074	7.6	11	4	7	2.1	7	3	4	1.3	563	0.9
28	5,118	2,684	2,434	8.3	4,839	2,702	2,137	7.9	7	5	2	1.4	5	4	1	1.0	279	0.5

区分 年次	死産				周産期死亡				婚姻		離婚		人口
	実数	自然	人工	率 (出産千対)	総数	妊娠満 22週 以後の 死産	早期 新生児	率 (出産千対)	件数 (組)	率 (人口千対)	件数 (組)	率 (人口千対)	
26	108	64	44	19.9	24	19	5	4.5	3,424	5.5	1,013	1.64	619,214
27	130	72	58	23.9	17	13	4	3.2	3,403	5.5	1,081	1.74	622,890
28	126	76	50	24.0	32	27	5	6.2	3,381	5.5	1,034	1.68	614,485

※ 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの。

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生1,000対、死産率は出産（出生＋死産）1,000対。

※ 周産期死亡率は出産（出生＋妊娠満22週以降の死産）1,000対。

※ 人口は千葉県毎月常住人口（10月1日現在）を基に算出。



(2) 死亡統計

① 死亡順位の年次推移及び千葉県・全国との比較

順位	平成 26 年 (船橋市)					平成 27 年 (船橋市)					平成 28 年 (船橋市)				
	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)
		総数	男	女			総数	男	女			総数	男	女	
1	悪性新生物	1,429	842	587	230.8	悪性新生物	1,533	939	594	246.1	悪性新生物	1,478	904	574	235.7
2	心疾患	887	456	431	143.2	心疾患	867	471	396	139.2	心疾患	885	489	396	141.1
3	肺炎	395	208	187	63.8	肺炎	433	241	192	69.5	肺炎	425	233	192	67.8
4	脳血管疾患	362	197	165	58.5	脳血管疾患	326	172	154	52.3	脳血管疾患	359	186	173	57.3
5	老衰	187	39	148	30.2	老衰	201	45	156	32.3	老衰	269	71	198	42.9
6	自殺	106	67	39	17.1	不慮の事故	108	73	35	17.3	不慮の事故	110	67	43	17.5
7	不慮の事故	89	53	36	14.4	自殺	102	71	31	16.4	腎不全	85	41	44	13.6
8	腎不全	58	35	23	9.4	腎不全	79	42	37	12.7	自殺	75	54	21	12.0
9	糖尿病	53	29	24	8.6	大動脈瘤及び 心臓病	65	35	30	10.4	大動脈瘤及び 心臓病	70	35	35	11.2
10	肝疾患	50	36	14	8.1	肝疾患	61	40	21	9.8	肝疾患	68	42	26	10.8

順位	平成 28 年 (千葉県)					平成 28 年 (全国)		
	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)	死亡率 (人口 /10万人 対)
		総数	男	女			総数	
1	悪性新生物	16,798	10,336	6,462	273.7	悪性新生物	372,986	298.3
2	心疾患	9,646	5,014	4,632	157.2	心疾患	198,006	158.4
3	肺炎	5,443	3,093	2,350	88.7	肺炎	119,300	95.4
4	脳血管疾患	4,584	2,289	2,295	74.7	脳血管疾患	109,320	87.4
5	老衰	3,950	1,056	2,894	64.4	老衰	92,806	74.2
6	不慮の事故	1,393	849	544	22.7	不慮の事故	38,306	30.6
7	自殺	1,026	730	296	16.7	腎不全	24,612	19.7
8	腎不全	905	478	427	14.7	自殺	21,017	16.8
9	大動脈瘤及び 心臓病	831	438	393	13.5	大動脈瘤及び 心臓病	18,145	14.5
10	肝疾患	633	411	222	10.3	肝疾患	15,773	12.6

※ 平成 28 年の船橋市の死亡率は、平成 28 年 10 月 1 日現在千葉県毎月常住人口を基に算出。

② 部位別悪性新生物死亡状況（平成 28 年）

（単位：人）

区 分	死 亡 数		
	計	男 性	女 性
総 数	1,478	904	574
口唇・口腔及び咽頭	37	28	9
食道	48	38	10
胃	184	133	51
結腸	122	62	60
直腸 S 状結腸移行部及び直腸	61	41	20
肝及び肝内胆管	116	75	41
胆のう及びその他の胆道	61	38	23
膵	138	71	67
喉頭	6	6	-
気管・気管支及び肺	299	213	86
皮膚	3	-	3
乳房	54	1	53
子宮	22	・	22
卵巣	21	・	21
前立腺	49	49	・
膀胱	35	21	14
中枢神経系	11	6	5
悪性リンパ腫	40	23	17
白血病	29	16	13
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	20	10	10
その他	122	73	49

### (3) 出生統計

平成 28 年の出生数は 5,118 人で出生率（人口千対）は 8.3%である。

#### ① 合計特殊出生率の年次推移

(単位：人)

区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
船橋市	1.31	1.35	1.36	1.38	1.37	1.39	1.36	1.39	1.37
千葉県	1.29	1.31	1.34	1.31	1.31	1.33	1.32	1.38	1.35
全国	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44

※ 合計特殊出生率とは、15～49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

#### ② 出生児の性、体重別（平成 28 年）

(単位：人)

体重(g) 性別	999 以下	1,000～ 1,499	1,500～ 1,999	2,000～ 2,499	2,500～ 2,999	3,000～ 3,499	3,500～ 3,999	4,000 以上	計
男	7	13	28	156	879	1,225	350	26	2,684
女	9	6	28	212	958	983	215	23	2,434
計	16	19	56	368	1,837	2,208	565	49	5,118

### (4) 母体保護法統計

母体保護法の規定に基づいて医師から届出のあった不妊手術及び人工妊娠中絶の報告をもとに作成したもので、28 年度不妊手術の報告件数は 3 件、人工妊娠中絶については 755 件であった。

#### 人工妊娠中絶年齢・妊娠週数別件数

(単位：件)

区分	平成 26年 度	平成 27年 度	平成 28年 度	20歳 未満	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳
7週以前	334	336	339	21	60	62	76	81	36	3
8～11週	360	338	350	38	96	67	65	54	27	3
12～15週	27	37	28	3	9	5	7	1	3	-
16～19週	28	24	31	7	8	4	1	7	4	-
20～21週	11	10	7	2	-	-	4	-	1	-
計	760	745	755	71	173	138	153	143	71	6

※ 管内の医師より届出されたもので、届出数は管外者も含む。

## (5) その他の統計等

## 統計調査等の状況

調査名	調査目的	平成28年度実績
1. 国民生活基礎調査 (世帯票・健康票・介護票)	国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するため実施。	調査日 6月2日 対象地区 8地区 対象世帯 368世帯
2. 衛生行政報告例	中核市における衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料とする。	毎年5月末までに報告
3. 地域保健・健康増進事業報告	地域住民の健康保持及び増進のために実施している保健事業を把握し、地域保健施策の効率・効果的な推進の基礎資料とする。	毎年6月末までに報告
4. 社会保障・人口問題基本調査	「第8回人口移動調査」 人生の節目での移動経験、移動理由、また移動予定があるのかを明らかにすることで、人口減少社会における「まち・ひと・しごと」創生や地域活性化などの施策のための基礎資料を作成するため実施。	調査日 7月1日 対象地区 3地区 対象世帯 133世帯
5. 医療施設調査	病院及び診療所の分布と整備の実態を明らかにし、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料とする。	動態調査 毎月報告 対 象 開設、廃止、変更等のあった医療機関
6. 病院報告 (患者票)	病院における患者の利用状況を把握し、医療行政の基礎資料とする。	毎月報告 対 象 市内22医療機関
7. 病院報告 (従事者票)	病院の従事者の状況を把握し、医療行政の基礎資料とする。	調査日 毎年10月1日 対 象 市内22医療機関
8. 医師・歯科医師・薬剤師調査	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科名等による分布を明らかにし医療行政の基礎資料とする。	調査日 隔年12月31日現在 対 象 医師・歯科医師・薬剤師

### 3 健康危機管理対策

地域医療施策について、専門的、学術的観点から知見を集積し、対応策の検討等を行うために地域医療専門部会を開催した。

開催年月	主な内容
平成 29 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国者・接触者外来医療機関の追加について</li> <li>・新型インフルエンザ等対策病院実動訓練について</li> <li>・新型インフルエンザ空床状況・人工呼吸器稼働状況確認訓練について</li> <li>・新型インフルエンザ等発生時における入院医療体制に関する調査結果について</li> <li>・新型インフルエンザ等住民接種について</li> </ul>

### 4 医事薬事業務

医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下、「医薬品医療機器等法」という。)等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。

また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から医療法や医薬品医療機器等法等に適合し適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

#### (1) 医 事

##### ①医療機関等の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分 年度	施 設 数											病 床 数									
	病 院			一般 診療所		歯科 診療所		助産所		施 術 所			歯 科 技 工 所	病 院					診 療 所		
	計	地 域 医 療 援 助	一 般 ・ 療 養	精 神	有 床	無 床	有 床	無 床	有 床	無 床	は り ・ き よ う	マ ッ サ ー ジ ・ 指 庄 ・ あ ん 摩 ・ 柔 道 整 復		計	一 般	療 養	結 核	精 神	感 染	一 般	療 養
平成 26 年度	22	1	18	3	10	346	-	327	-	10	414	202	82	4,427	2,622	541	-	1,260	4	106	-
平成 27 年度	22	1	18	3	9	349	-	326	-	12	428	213	86	4,446	2,633	549	-	1,260	4	102	-
平成 28 年度	22	1	18	3	9	348	-	332	-	13	444	218	88	4,469	2,669	549	-	1,247	4	104	-

※病床数は、使用許可済数を計上している。

##### ②医療機関等立入検査

区分 年度		病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	助 産 所	施 術 所	う り ・ き よ う 指 庄 ・ マ ッ サ ー ジ ・ あ ん 摩 ・ 柔 道 整 復	歯 科 技 工 所	衛 生 検 査 所	計	
		平成 28 年度	施設数	22	357	332	13	662	(444)	(218)	88
	立入 件数	22	35	17	0	37	(14)	(23)	0	1	112

※ ( ) は施術所の内訳。

(2)薬 事

①医薬品医療機器等法関係施設の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分		薬局	販売業舗	卸売業	製造業	薬局製剤	製造販売業	薬局製剤	等販売業	医療機器	高度管理	等貸与業	医療機器	高度管理	計
年度															
平成 26 年度	施設数	204	78	36	24	24	221	93	680						
平成 27 年度	施設数	208	78	35	23	23	231	105	703						
平成 28 年度	施設数	211	80	35	23	23	248	114	734						
	立入件数	122	44	21	10	10	96	33	336						

②毒物及び劇物取締法関係施設の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分		毒物劇物販売業	毒物劇物業務上取扱者(要届出)	計
年度				
平成 26 年度	施設数	140	8	148
平成 27 年度	施設数	138	8	146
平成 28 年度	施設数	137	7	144
	立入件数	57	1	58

(3)免許申請

(単位：件)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	臨床検査技師	衛生検査技師	診療放射線技師	理学療法士	作業療法士	歯科技工士	視能訓練士	登録販売者	計
年度																
平成 26 年度	25	14	118	55	9	294	45	35	3	21	114	39	6	5	44	827
平成 27 年度	40	16	118	61	6	351	46	24	1	17	93	29	-	2	53	857
平成 28 年度	29	19	145	56	17	361	33	33	3	16	116	48	-	2	50	928
	新規	20	5	94	23	6	186	16	12	-	13	97	33	-	2	38

#### (4) 医療従事者数

##### ① 医師、看護師等の数

(単位：人)

区分 年	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科 技工士
平成 24 年	807	439	1,385	154	158	3,036	646	392	86
平成 26 年	871	442	1,477	165	166	3,309	626	404	97
平成 28 年	914	476	1,562	159	159	3,441	561	429	86

※ 隔年毎に調査（各年 12 月 31 日現在）

保健師、助産師、看護師及び准看護師数は医療従事者数である。

##### ② 年次別医師、歯科医師及び薬剤師の人口 10 万対率

(単位：人)

区分 年	医師			歯科医師			薬剤師		
	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国
平成 24 年	131.2	178.8	237.8	71.4	82.6	80.4	225.2	198.6	219.6
平成 26 年	136.0	182.9	233.6	69.3	81.3	79.4	176.6	165.0	170.0
平成 28 年	140.3	189.9	240.1	74.6	81.7	80.0	189.0	176.2	181.3

※ 隔年毎に調査（各年 12 月 31 日現在）。

#### (5) 船橋市医療安全支援センター

医療安全相談窓口を設置し、市民の医療に関する相談・苦情を受け付けた。また、船橋市医療安全推進協議会、医療安全管理者等に対する研修会等を実施した。

##### 医療安全相談窓口実績

相談内容	件数
医療費に関すること	58
医療行為・医療内容・治療内容に関すること	127
健康相談に関すること	234
医療機関紹介・案内に関すること	110
医療事故・過誤の判断に関すること	41
転院の相談に関すること	24
医薬品に関すること	43
医療機関従事者の接遇に関すること	45
説明不足に関すること	11
カルテ開示に関すること	4
診療拒否に関すること	7
セカンドオピニオンに関すること	2
上記以外の医療関連法規に関すること	7
その他	90
計	803

## 協議会・研修会等実績

研修会等名称	回数	人数	内容
船橋市医療安全推進協議会	2	委員 4 名	実績報告、活動計画
		委員 4 名	実績報告、活動計画
船橋市医療安全推進協議会事例検討部会	2	委員 5 名	事例検討 ・患者と医療機関の間でかかりつけ医の認識に相違
		委員 5 名	事例検討 ・院内連携、患者自身の病状把握に課題 ・高齢者救急医療
医療安全研修会	1	参加者 41 名	演題「病院における医療安全管理対策について」
病院患者相談窓口担当者連絡会議	2	参加者 36 名	研修「医療相談支援」、グループワーク
		参加者 41 名	病院からの発表、グループワーク

### (6)薬物乱用防止対策

近年、覚せい剤による中毒者が急増し、一般市民層、特に青少年や主婦層にまで広がっており、社会的な問題となっている。

千葉県薬物乱用防止指導員船橋市地区協議会には 38 名の薬物乱用防止指導員がおり、地域啓発活動を実施している。「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間中に、指導員の協力を得て、街頭啓発活動を実施した。

## 5 検査業務

### (1)臨床検査

原子爆弾被爆者の健康診断としての尿検査、エイズ予防対策としての HIV 抗体検査、性感染症予防対策としての梅毒抗体検査、クラミジア抗体検査、結核予防対策としてのクオンティフェロン (QFT) 検査、結核菌塗抹培養検査を実施した。

(単位：件)

区分		年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
尿	糖		40	40	29
	蛋白		40	40	29
	潜血		40	40	29
	ウロビリノーゲン		40	40	29
喀痰	結核菌	塗抹鏡検	2	4	6
		培養	2	4	6
血液	血清	QFT	-	348	710
		HIV 抗体	736	597	663
		クラミジア抗体	554	462	530
		梅毒	598	505	585



## (2) 細菌検査

### ① 感染症発生時及び検疫通報等に伴う病原細菌検査実施状況

医療機関からの感染症の届出による患者・経過者検査及び接触者等について検査を実施した。(単位：件)

区分 年度	便			項目			検出状況
	患者・ 経過者	家族・ 接触者	その他	赤痢菌	パラチフ ス A 菌	腸管出血性 大腸菌	腸管出血性大腸菌
平成 26 年度	39	45	-	7	11	66	8
平成 27 年度	17	19	-	-	3	33	5
平成 28 年度	19	50	2	8	-	63	3

### ② 腸内細菌検査実施状況

感染症の予防を目的とした食品関係従事者、給食従事者及び水道施設従事者等の腸内細菌検査を実施した。(単位：件)

区分 年度	項目					検出状況
	赤痢菌	チフス菌	パラチフス A 菌	サルモネラ属 菌	腸管出血性大 腸菌 0157	サルモネラ 属菌
平成 26 年度	4,277	4,254	4,254	4,262	3,721	6
平成 27 年度	4,863	4,839	4,839	4,856	4,296	0
平成 28 年度	5,647	5,637	5,637	5,638	4,960	9

## (3) 食品衛生検査

食品の安全性を確保する目的で、細菌数及び病原起因菌等の微生物学的検査並びに保存料・甘味料等の食品添加物について理化学的検査を実施した。また、乳類については乳類の規格検査を実施した。

### ① 収去食品細菌検査状況

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳								
			一般細菌数 (生菌数)	大腸菌群	大腸菌	黄色ブドウ球 菌	サルモネラ属 菌	セレウス菌	腸炎ビブリオ	腸炎ビブリオ (最確数)	クロストリジ ウム属菌
平成 26 年度	206	558	131	49	157	127	5	64	4	18	3
平成 27 年度	177	492	152	40	137	110	5	18	8	19	3
平成 28 年度	193	554	178	23	170	134	4	18	6	19	2

②収去食品理化学検査実施状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳					
				ナトリウム サッカリン	ソルビン酸	安息香酸	酸 デヒドロ酢	亜硝酸根	タール色素
平成 26 年度		25	114	27	26	26	26	6	3
平成 27 年度		37	110	31	27	22	22	6	2
平成 28 年度		36	102	30	26	20	20	6	-

③乳類規格試験実施状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳					
				一般細菌数 (生菌数)	大腸菌群	比重	酸度	分 無脂乳固形	乳脂肪分
平成 26 年度		4	16	4	4	2	2	2	2
平成 27 年度		6	26	4	6	4	4	4	4
平成 28 年度		4	24	4	4	4	4	4	4

(4)環境衛生検査

公衆浴場等の衛生状態を確認するために、レジオネラ属菌等の検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	レジオネラ属菌 (培養法)	レジオネラ属菌 (迅速法)	大腸菌群	過マンガン酸カリ ウム消費量
平成 26 年度		62	35	18	18
平成 27 年度		38	20	18	20
平成 28 年度		42	14	13	13

(5)食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

食中毒事件及び苦情等に係る検査について、微生物学的検査及び理化学的検査を実施した。

(単位：件)

区 分		計	食品	便	拭取り	その他	
平成 26 年 度	検体数	336	37	188	110	1	
	項目数	4,227	437	2,191	1,598	1	
平成 27 年 度	検体数	217	10	149	58	-	
	項目数	3,384	134	2,264	986	-	
平成 28 年 度	検体数	222	13	138	70	1	
	項目数	2,491	130	1340	1020	1	
項 目 内 訳	サルモネラ属菌		142	9	74	59	-
	黄色ブドウ球菌		160	10	85	65	-
	腸炎ビブリオ		138	7	72	59	-
	腸管出血性大腸菌		138	7	72	59	-
	その他の病原性大腸菌		138	7	72	59	-
	ウェルシュ菌		138	7	72	59	-
	セレウス菌		161	10	86	65	-
	エルシニア エンテロコリチカ		138	7	72	59	-
	カンピロバクター ジェジュニ/コリ		145	9	76	59	1
	ナグビブリオ		138	7	72	59	-
	コレラ菌		138	7	72	59	-
	赤痢菌		138	7	72	59	-
	チフス菌		138	7	72	59	-
	パラチフス A 菌		138	7	72	59	-
	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア		138	7	72	59	-
	ブレジオモナス シゲロイデス		138	7	72	59	-
	ビブリオ フルビアリス		138	7	72	59	-
	クドア属		3	1	2	0	-
	ノロウイルス		86	-	81	5	-
検 出 状 況	サルモネラ属菌		6	4	2	0	-
	黄色ブドウ球菌		26	3	15	8	-
	その他の病原性大腸菌		6	1	4	1	-
	ウェルシュ菌		8	2	6	0	-
	セレウス菌		18	3	6	9	-
	カンピロバクター ジュジュニ/コリ		17	2	14	0	1
	クドア属		3	1	2	0	-
	ノロウイルス		47	-	46	1	-
	(再掲) ノロウイルス遺伝子型別解析		GⅡ.2	9	-	9	-

(6)原因不明の胃腸炎の検査実施状況

原因不明の胃腸炎として届出のあったものについて、病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
検体数		37	41	22	
項目数		37	93	22	
項目内訳	腸管出血性大腸菌	-	3	-	
	A 群ロタウイルス	5	20	-	
	アデノウイルス	5	15	-	
	サポウイルス	4	14	-	
	ノロウイルス	23	41	22	
検出状況	A 群ロタウイルス	0	2	-	
	アデノウイルス	0	2	-	
	サポウイルス	1	4	-	
	ノロウイルス	10	27	22	
	(再掲)ノロウイルス遺伝子型別解析	GⅡ.2	非実施	非実施	21
		GⅡ.6	非実施	非実施	1

(7)院内感染対策の検査実施状況

院内感染の病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

区分 年度	施設	検体数	項目内訳
			バンコマイシン耐性腸球菌 (パルスフィールドゲル電気泳動法)
平成 28 年度	1	8	8

(8) 精度管理業務

検査結果の信頼性確保目的で、内部精度管理及び外部精度管理を実施した。

① 内部精度管理実施状況

(単位：件)

区分		年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
細菌検査	添加回収試験	一般細菌数（生菌数）	19	20	22
	陽性対照試験	大腸菌群	9	12	7
		大腸菌	16	16	19
		黄色ブドウ球菌	12	12	14
		サルモネラ属菌	1	1	1
		セレウス菌	4	1	1
		腸炎ビブリオ	3	3	3
		クロストリジウム属菌	1	1	1
	繰り返し試験	一般細菌数（生菌数）	3	5	7
理化学検査	添加回収試験	サッカリンナトリウム	4	4	4
		ソルビン酸	4	4	4
		タール色素	1	1	-
		亜硝酸根	1	1	1
		安息香酸	4	3	3
		デヒドロ酢酸	4	3	3
	繰り返し試験	ソルビン酸	-	1	1
		安息香酸	-	1	1
		デヒドロ酢酸	-	1	1

② 外部精度管理実施状況

(単位：件)

区分		年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般財団法人 食品薬品安全 センター	細菌検査	一般細菌数	1	1	1
		大腸菌群	1	1	1
		大腸菌	1	-	1
		黄色ブドウ球菌	1	1	1
		サルモネラ属菌	1	1	1
		腸内細菌科菌群	-	-	1
	理化学検査	ソルビン酸	1	-	-
		タール色素	1	1	1
		安息香酸	-	1	1
千葉県 衛生研究所	細菌検査	1	1	1	
	ノロウイルス検査	1	1	1	
	A群ロタウイルス検査	-	1	-	
日水製薬株式 会社	レジオネラ属菌	-	-	1	

## 6 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、結核患者の登録管理、医療費の公費負担、服薬支援、健康診断、指定医療機関の指定等の業務を行っている。

### (1) 登録者の年次推移

(単位：人)

区分 \ 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
管内人口	611,799	614,657	619,214	622,823	627,073
新登録患者数	87	115	115	112	140
罹患率 (人口 10 万対)	14.2	18.7	18.5	18.0	22.3
年末時登録者数	226	224	235	248	285
有病率 (人口 10 万対)	9.0	12.2	11.3	12.4	15.8
結核死亡者数	5	8	8	8	8
結核死亡率 (人口 10 万対)	0.8	1.3	1.3	1.3	1.3

### (2) 新登録患者数 (活動性分類別)

(単位：人)

区分 \ 年	活動性結核						罹 患 率 (人口十 万対)	肺 結 核 塗 抹 患 者 率 (人口十 万対)	潜 在 性 結 核 感 染 症 (別掲)
	総 数	肺結核活動性				肺 外 結 核			
		総 数	陽 性 塗 抹	喀 痰 性 抹	結 核 菌 陽 性 の 他 の 陰 他 性				
平成 26 年	115	90	39	29	22	25	18.5	6.3	38
平成 27 年	112	89	49	26	14	23	18.0	7.9	43
平成 28 年	140	114	49	31	34	26	22.3	7.8	118

### (3) 新登録患者数 (年齢階級別)

(単位：人)

区分 \ 年	総 数	0 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上
平成 26 年	115	—	—	—	2	9	13	13	12	18	48
平成 27 年	112	—	1	—	5	8	9	10	13	20	46
平成 28 年	140	1	—	4	17	20	15	17	9	13	44

## (4) 年末現在登録者数 (活動性分類別)

(単位：人)

区分 年	登録者 総数	活動性結核					不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	有 病 率 ( 人 口 十 万 対 )	潜 在 性 結 核 感 染 症 ( 別 掲 )
		肺結核活動性				肺 外 結 核				
		総 数	陽 性 抹 査	結 核 菌 陽 性 の 他 の 陰 性	そ の 他 の 陰 性					
平成 26 年	235	54	26	14	14	16	153	12	11.3	110
平成 27 年	248	63	33	18	12	14	163	8	12.4	104
平成 28 年	285	99	37	24	24	14	177	9	15.8	196

## (5) 年末現在登録者数 (年齢階級別)

(単位：人)

区分 年	総 数	0 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上
		平成 26 年	235	1	—	1	4	19	33	32	29
平成 27 年	248	—	1	3	7	23	26	32	30	47	79
平成 28 年	285	1	—	2	21	38	33	36	29	48	77

## (6) 結核医療費公費負担診査状況 (37条の2)

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成 26 年度	207	200	83	82	59	55	42	40	18	18	5	5
平成 27 年度	207	204	80	80	69	67	30	30	27	26	1	1
平成 28 年度	343	332	195	187	93	90	40	40	14	14	1	1

## (7) 結核入院勧告診査件数 (20条1項)

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成 26 年度	47	47	10	10	15	15	14	14	8	8	—	—
平成 27 年度	53	53	10	10	19	19	17	17	7	7	—	—
平成 28 年度	46	46	16	16	10	10	15	15	2	2	3	3

## (8)結核入院勧告延長診査件数（20条4項）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成26年度	69	68	13	13	20	20	16	16	17	16	3	3
平成27年度	106	106	14	14	39	39	27	27	26	26	-	-
平成28年度	88	88	20	20	21	21	37	37	4	4	6	6

## (9)精密検査(管理検診)実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	胸部X線撮影	喀痰検査者		検診結果		
				塗抹	培養	要医療	要観察	異常なし
平成26年度	473	413	413	57	57	1	2	410
平成27年度	461	425	423	57	57	4	2	419
平成28年度	520	458	457	60	60	0	1	457
保健所		85	85	1	1	0	1	84
委託分		258	257	56	56	0	0	258
その他		115	115	3	3	0	0	115

## (10)接触者健康診断実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	ツ反検査	QFT検査	胸部X線検査	喀痰検査		健診結果			
						塗抹	培養	要医療	発病のおそれ	潜在性結核感染症	異常なし
平成26年度	963	897	41	465	498	3	2	3	4	30	860
平成27年度	917	865	8	488	573	6	6	9	3	54	766
平成28年度	1400	1357	90	993	1030	7	7	34	16	103	1093
保健所		935	0	694	657	1	1	30	12	88	752
委託分		422	90	299	373	6	6	4	4	15	341

## (11)定期健康診断実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	受診率	間接撮影者数	直接撮影者数	喀痰検査者数	検査結果		
							発見患者数	患者発見率	
平成26年度	166,784	90,884	54.5%	12,491	78,393	6	5	0.005%	
平成27年度	171,935	94,487	55.0%	13,686	80,801	7	2	0.002%	
平成28年度	175,404	92,052	52.5%	12,945	79,107	7	2	0.002%	
内 訳	事業者	17,472	17,426	99.7%	3,442	13,984	5	1	0.006%
	学生	9,074	9,023	99.4%	8,987	36	-	0	0.0%
	施設	2,103	1,998	95.0%	516	1,482	2	0	0.0%
	市町村	146,755	63,605	43.3%	-	63,605	-	1	0.002%

※健康づくり課が実施する肺がん検診と結核検診の65歳以上の受診者を含む。



## (12) 結核患者管理・支援状況

### ① 結核患者個別支援状況

登録された結核患者について、早期の治療終了に向けて入院中の院内面接、家庭訪問等により個別支援（DOTS）・指導を実施した。

年度	区分	病院内面接・家庭訪問		電 話	保健所内面接
		実人数（人）	延べ件数（件）	延べ件数（件）	延べ件数（件）
平成 26 年度		125	442	726	349
平成 27 年度		104	354	876	304
平成 28 年度		114	304	1,393	435

### ② 船橋市地域 DOTS 支援事業

#### ア. 地域 DOTS カンファレンス（個別支援計画の策定）

患者の通院治療開始時期に併せて DOTS サービス内容について検討する。

船橋市では独自のリスクアセスメント票により患者の治療中断リスクを評価し、支援内容を決定する指針にしている。

個別支援計画のリスク別内訳 ※潜在性結核感染症含む （単位：人）

開催回数	リスクランク	DOTS カンファレンス 検討者数
月 1 回診査会終了後実施	A タイプ	2
	B タイプ	68
	C タイプ	238
	その他	14
	計	322

※ A：原則毎日 DOTS を要す。

B：週単位の支援を要す。

C：月 1 回程度の連絡確認。

その他：転院等により地域 DOTS を開始しなかった患者。

#### イ. DOTS 支援員派遣事業

在宅で療養している結核患者に保健師、看護師、薬剤師が家庭訪問による服薬支援を行う。

支援員派遣の実際 （支援員数：各年度末現在）

年度	区分	支援員数（人）	患者数 （実人数、単位：人）	DOTS 実施回数 （延べ回数）
平成 26 年度		7	13	118
平成 27 年度		7	11	98
平成 28 年度		6	17	104

## ウ. 薬局 DOTS

薬局にて薬剤師が DOTS を行う「船橋市薬局 DOTS」を平成 19 年 9 月から開始した。

区分 年度	薬局数 (件)	患者数 (実人数、単位：人)	DOTS 実施回数 (延べ回数)
平成 26 年度	25	63	252
平成 27 年度	29	79	253
平成 28 年度	45	175	814

### ③コホート検討会 (平成 27 年 1 月～12 月登録患者)

目 的：全結核患者の治療終了後、治療成績を評価し、また脱落・中断患者の検討を行うことにより支援の強化を図る。

開催日時：平成 29 年 3 月 16 日 (木) 15:00～16:00

評価内容：治療成績評価、治療状況評価 (受療状況、治療中断のリスク)  
保健師による支援評価 (初回面接、退院前訪問、在宅服薬確認)

構 成 員：有識者、保健所長ほか保健所職員

### 治療成績

区分 年	対象 者数 (人)	治癒 (%)	治療 完了 (%)	その他 (%)	死亡 (%)	治療 失敗 (%)	脱落 中断 (%)	治療 成功 (%)
平成 26 年	102	11.8	50.0	18.6	15.7	2.0	2.0	61.8
平成 27 年	96	22.9	44.8	14.6	12.5	0.0	5.2	67.7
平成 28 年	97	36.1	26.8	22.7	12.4	0.0	2.1	62.9

### ④結核病床を有する医療機関との連携会議

結核の入院病床を有する「化学療法研究所附属病院 (平成 29 年 9 月より、国際医療福祉大学市川病院)」と「千葉東病院」との DOTS カンファレンスに参加し、患者の治療終了に向けて、退院後の問題点等を共有した。

化学療法研究所附属病院：12 回／年

千葉東病院：4 回／年

### ⑤結核定期病状調査事業

結核患者について、その治療状況、病状の経過、菌情報等を定期的に医療機関より報告を受けることで、治療成功、管理の完結を見届ける。調査件数 15 件

## 7 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき感染症の発生・拡大への対策を行っている。

### (1) 新感染症・1類感染症届出数

発生なし

### (2) 2類感染症届出数

(単位：人)

年	区分	総数	急性灰白髄炎	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	結核
平成26年		140	—	—	—	140
平成27年		127	—	—	—	127
平成28年		220	—	—	—	220

### (3) 3類感染症発生届出数

(単位：人)

年	区分	総数	腸管出血性大腸菌感染症	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
平成26年		16	16	—	—	—	—
平成27年		14	13	—	—	—	1
平成28年		17	16	—	1	—	—

### (4) 3類感染症発生に伴う健康調査並びに検便実施状況

(単位：調査人、検便件)

年度	区分		腸管出血性大腸菌感染症		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便
平成26年度	886	44	886	44	—	—	—	—	—	—	—	—
平成27年度	18	33	16	28	—	—	—	—	—	—	2	5
平成28年度	47	62	39	55	—	—	8	7	—	—	—	—

### (5) 4類感染症届出数

(単位：人)

疾患名	平成26年	平成27年	平成28年
E型肝炎	3	4	3
A型肝炎	—	1	2
デング熱	2	—	1
レジオネラ症	9	9	4

※無症状病原体保有者含む。

※上記以外の疾患については3年間届出なし。

(6) 5類感染症発生状況

①全数把握対象感染症届出数

(単位：人)

疾患名		平成26年	平成27年	平成28年
アメーバ赤痢		4	3	6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		—	10	5
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）		3	1	5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1	2
後天性免疫不全症候群		3	3	4
(内訳)	無症候性キャリア	(2)	(2)	(3)
	AIDS	(1)	(1)	(1)
	その他	(—)	(—)	(—)
ジアルジア症		—	1	—
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1	—
侵襲性髄膜炎菌感染症		3	—	—
侵襲性肺炎球菌感染症		—	9	6
梅毒		10	8	15
破傷風		—	2	—
風しん		7	1	2
麻しん		—	—	3
薬剤耐性アシネトバクター感染症		—	—	1

※上記以外の疾患については3年間届出なし。

②感染症発生動向調査事業に基づく定点報告

ア. 患者定点医療機関数

(単位：機関)

区分	インフルエンザ	小児科	疑似症	眼科	性感染症	基幹
医療機関数	17	11	34	3	4	—

イ. 定点把握対象疾患報告数

(単位：人)

疾患名		平成26年	平成27年	平成28年
1	RSウイルス感染症	387	277	455
2	咽頭結膜炎	282	432	266
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,838	1,916	2,900
4	感染性胃腸炎	4,122	4,079	5,066
5	水痘	795	340	328
6	手足口病	353	1,355	643
7	伝染性紅斑	318	645	212
8	突発性発しん	480	448	404
9	百日咳	3	—	—

10	ヘルパンギーナ	827	472	700
11	流行性耳下腺炎	167	217	365
12	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	6,634	3,584	6,150
13	急性出血性結膜炎	1	—	—
14	流行性角結膜炎	87	75	114
15	性器クラミジア感染症	80	108	136
16	性器ヘルペスウイルス感染症	28	38	40
17	尖形コンジローマ	10	10	7
18	淋菌感染症	20	6	15

※疾患1～14は、週報告対象疾患。

※疾患16～18は、月報告対象疾患。

※基幹定点報告対象疾患については、当保健所管内には報告対象となる医療機関がないため除外。

### (7) 管外での感染症発生に伴う調査状況

(単位：調査人、検便件)

年度	区分	調査件数	調査人数	管外での感染症発生に伴う調査数	自主申告による調査数	同行者調査数	検疫通報に伴う接触者及び同行者調査数	検便実施数	菌陽性者数			
									感染症	性大腸菌	腸管出血	コレラ
平成26年度		9		79	—	—	—	39	1	—	—	—
平成27年度		7		8	—	—	—	5	—	—	—	—
平成28年度		9		9	—	—	—	9	—	—	—	—

### (8) インフルエンザ様疾患届出状況

年度	区分	届出施設数	届出患者数	措置			
				学級閉鎖数	学年閉鎖数	休校	その他
平成26年度		158	1,470	148	9	1	—
平成27年度		252	2,043	198	48	6	—
平成28年度		224	2,323	205	18	1	—

### (9) 感染症発生に伴う個別指導状況 (単位：延べ件数)

区分	指導内容	訪問	面接	電話
2類感染症(結核を除く)		—	—	—
3類感染症		21	15	122
4類感染症		1	—	24
5類感染症		—	—	66
管外発生		1	3	23
施設内発生		12	2	183
計		35	20	418

## (10) 研修会の開催状況

月 日	主 な 内 容
平成 28 年 6 月 16 日	テーマ：「防護服着脱訓練」 講師：保健所職員 場所：船橋市保健福祉センター大会議室 対象：市職員 22 名参加
平成 28 年 8 月 31 日	テーマ：船橋市新型インフルエンザ等対策に係る研修会 講師：国立国際医療研究センター病院国際感染症センター長 大曲貴夫先生、保健所職員 場所：船橋市保健福祉センター大会議室 対象：病院・診療所職員、保健所職員 65 名参加
平成 28 年 10 月 5 日	平成 28 年度感染性胃腸炎対策研修会 講師 船橋総合病院感染管理認定看護師 日向早苗 先生 場所：保健福祉センター2 階大会議室 対象：社会福祉館職員、学校職員、市職員 319 名参加
平成 28 年 10 月 7 日	MERS 疑い患者発生時対応訓練（地域医療機能推進機構船橋中央病院、習志野保健所合同訓練） 場所：地域医療機能推進機構船橋中央病院 対象：習志野保健所、病院職員、市職員等 35 名参加
平成 29 年 3 月 15 日	平成 28 年度船橋市新型インフルエンザ等病院実動訓練 場所：板倉病院 参加者：訓練参加 16 名、訓練見学 13 名

## (11) 蚊媒介感染症予防対策事業

### ①蚊の密度調査及びウイルス保有調査

平成 26 年夏、約 70 年ぶりにデング熱の国内感染が確認されたことを受けて、媒介蚊であるヒトスジシマカの生息状況を調査するため、船橋市運動公園をモニタリング場所として 5 月から 10 月までの 6 か月間、蚊を捕獲し、ヒトスジシマカの密度調査とデングウイルス及びチクングニアウイルス・ジカウイルス保有調査を行った。調査結果については、船橋市ホームページに随時掲載した。

密度調査：11 回

ウイルス保有調査：10 回（すべて陰性）

### ②0 のつく日はボウフラ・ゼロ」運動

「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針（厚生労働省告示第二百六十号平成二七年四月二八日）」に基づき、船橋市職員及び市民一人ひとりが蚊媒介感染症予防に対する意識を高め、誰にでも実行可能な対策を行うことにより、蚊の発生を抑え、蚊媒介感染症のまん延を防止することを目的として、4 月から 8 月の 10、20、30 日は、水のたまった空き缶や植木鉢の受け皿など、ヒトスジシマカの幼虫が発生しやすい場所を発見して片付ける日と定め、「0（ゼロ）のつく日は、ボウフラ 0（ゼロ）」をキャッチフレーズに掲げ、船橋市の関係各課を通じ、広く市民に普及啓発を図るとともに、蚊の幼虫が発生しにくい環境づくりを市民と行政が一体となって進めていくよう、ポスターの作成・配

布や船橋市ホームページなどにより啓発活動を行った。

## 8 エイズ予防事業

エイズ予防事業では正しい性行動を取れるように、また HIV 陽性者やエイズ患者に対する偏見をなくすために様々な機会を利用して正しい知識の普及を行っている。

平成 28 年度は、学校等を対象としたエイズ講習会等講師派遣事業として、市内 5 校に対し講師を派遣、生徒を対象にエイズ講習会を実施した。

また、疾患の早期発見とまん延防止を目的として、HIV 検査（即日検査）を月 2 回実施し、休日検査を年 4 回（6・9・12・3 月）実施。検査日にエイズカウンセラーによる相談を実施している。

### (1) 啓発活動

#### ① 講習会の開催

月 日	主 な 内 容
平成 28 年 7 月 12 日	中学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講習会を実施した。 内 容：「エイズ予防教育」 講 師：船橋地区助産師会 栗島寿恵 先生 場 所：金杉台中学校 対象者：3 年生 18 人参加
平成 28 年 7 月 14 日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講習会を実施した。 内 容：「性感染症・エイズについて」 講 師：千葉大学医学部附属病院 感染症内科医師 谷口俊文 先生 場 所：千葉県立船橋古和釜高等学校 対象者：1～3 年生 628 人参加
平成 28 年 11 月 21 日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講習会を実施した。 内 容：「性感染症・エイズについて知る」 講 師：千葉大学医学部附属病院 感染症内科医師 谷口俊文 先生 場 所：東葉高等学校 対象者：2・3 年生・教職員 490 人参加
平成 29 年 2 月 16 日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講演会を実施した。 内 容：「性感染症とその予防について」 講 師：千葉大学医学部附属病院 感染症内科医師 櫻井隆之 先生 場 所：市立船橋高等学校 対象者：1 年生・教職員 346 人参加
平成 29 年 3 月 23 日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講演会を実施した。 内 容：「性感染症・エイズのこと」 講 師：千葉大学医学部附属病院 感染症内科医師 市村康典 先生 場 所：千葉県立船橋豊富高等学校 対象者：1・2 年生・教職員 392 人参加

## ②市立船橋高等学校学園祭（α祭）における啓発活動

月 日	主 な 内 容
平成 28 年 9 月 20 日 (準備)	内 容：エイズの基礎知識に関するパネルの展示、ビデオ上映、パンフレットの配布。
平成 28 年 9 月 21 日	養護教諭、保健委員会の生徒と共同で啓発活動を行った。 場 所：市立船橋高等学校
平成 28 年 9 月 22 日	対象者：校内学生・教員 両日で約 310 人参加

## ③世界エイズデーに伴う啓発活動

月 日	主 な 内 容
平成 28 年 11 月 18 日 ～12 月 10 日	平成 28 年度世界エイズデーに伴うエイズ予防に関する普及・啓発事業の一環として広報及び HIV 検査の啓発活動を実施。 ・広報ふなばし (12 月 1 日号) ・ホームページ (11 月 18 日～12 月 1 日) ・OK ビル電光掲示板 (11 月 27 日～12 月 10 日)
平成 28 年 11 月 18 日 ～12 月 9 日	内容：パネル展 (エイズ啓発パネルの展示にて、市民への正しい知識の啓発活動を実施。) 場所：保健福祉センター 1 階 地域交流スペース
平成 28 年 11 月 22 日	世界エイズデー in ふなばし 庁舎内キャンペーン 内容：保健所職員によるエイズ啓発用ティッシュ等の配布 場所：市役所 1 階ロビー
平成 28 年 12 月 1 日	世界エイズデー in ふなばし 街頭キャンペーン 内容：市立船橋高等学校 JRC 同好会と保健所職員によるエイズ啓発用ティッシュ、パンフレット、検査日程などの配布。 場所：JR 船橋駅北口広場

## ④所内におけるパンフレット等の配布

月 日	主 な 内 容
通年	保健所 4 階ロビー エイズ相談・HIV 検査日程表他パンフレット配布
平成 29 年 1 月 9 日	成人式にて新成人にエイズ予防に関するポケットティッシュを配布 (約 4,300 個)



## (2) 検査事業

### ① HIV 抗体検査

(単位：件)

年度	区分	回数	検査人数 (男)		検査人数 (女)		合 計
			検査人数 (男)	検査人数 (女)	検査人数 (女)	検査人数 (男)	
平成 26 年度	HIV 抗体検査	24	475 (2)	259 (0)	736 (2)		
	休日検査(再)	4	147	78	225		
平成 27 年度	HIV 抗体検査	23	408 (0)	189 (0)	597 (0)		
	休日検査(再)	4	143	53	196		
平成 28 年度	HIV 抗体検査	24	466 (3)	197 (0)	663 (3)		
	休日検査(再)	4	164 (2)	47	211 (2)		

※ ( ) 内は要医療で再掲。 ※6 月検査普及週間、12 月世界エイズデーのイベント検査として実施。

### ② 梅毒・クラミジア抗体検査

(単位：件)

年度	区分	男 性		女 性		合 計
		検査数	陽性数	検査数	陽性数	
平成 26 年度	梅毒抗体検査数	375 (2)	223 (3)	598 (5)		
	クラミジア抗体検査数	353 (53)	201 (42)	554 (95)		
平成 27 年度	梅毒抗体検査数	340 (4)	165 (1)	505 (5)		
	クラミジア抗体検査数	315 (52)	147 (26)	462 (78)		
平成 28 年度	梅毒抗体検査数	401 (7)	184 (4)	585 (11)		
	クラミジア抗体検査数	377 (58)	153 (36)	530 (94)		

※ ( ) 内は抗体検査で陽性反応のあった者。要医療かは検査の性質上不明。

## (3) 相談事業

### ① 相談者の区分 (実数)

#### ア. 年次推移

(単位：件)

年度	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
平成 26 年度		68	4	55	1	123	5
平成 27 年度		84	11	51	10	135	21
平成 28 年度		115	50	56	31	171	81

イ. 平成 28 年度相談者の区分内訳 (実数)

(単位：件)

相談者	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
同性間性行為による感染を心配する者		12	—	—	—	12	—
異性間性行為による感染を心配する者		36	1	18	1	54	2
その他の性行為による感染を心配する者		13	3	11	1	24	4
輸血による感染を心配する者		1	—	1	—	2	—
家族、友人の感染を心配する者		1	—	—	—	1	—
母子感染を心配する者		—	—	1	—	1	—
医療機関内感染を心配する者		3	—	2	—	5	—
日常生活での感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者		14	—	3	—	17	—
その他		35	46	20	29	55	75
合 計		115	50	56	31	171	81
カウンセラーによる相談 (再掲)		60	—	15	—	75	—

②相談内容 (延べ数)

ア. 年次推移

(単位：件)

年度	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
平成 26 年度		68	4	55	1	123	5
平成 27 年度		124	21	90	12	214	33
平成 28 年度		186	50	93	34	279	84

イ. 平成 28 年度相談内容の内訳 (延べ数)

(単位：件)

相談内容	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
エイズウイルス・疫学に関すること		2	—	1	—	3	—
患者・感染者の発生状況に関すること		1	—	1	—	2	—
症状・発生機序に関すること		31	—	14	1	45	1
検査に関すること		32	3	17	1	49	4
診断 (方法)・治療に関すること		16	—	4	1	20	1
感染経路に関すること		25	—	13	1	38	1
社会の差別や偏見に関すること		4	—	1	—	5	—
行政のエイズ対策に関すること		3	—	1	—	4	—
感染症予防法、施策等に関すること		2	—	—	—	2	—
その他		70	47	41	30	111	77
合 計		186	50	93	34	279	84
カウンセラーによる相談 (再掲)		102	—	28	—	130	—

## 9 肝炎ウイルス検査事業

肝炎ウイルスに感染リスクを有する者、受診機会のない市民を対象に肝炎ウイルス検査を実施し、潜在している感染者の早期発見に努めている。陽性者は早期治療へつながるよう医療機関へ紹介している。また肝炎、フィブリノゲン製剤等に関する相談業務も実施している。

### (1) 平成 28 年度検査事業（B型・C型肝炎ウイルス検査）

(単位:件)

項目 \ 区分	男性	女性	合計
検査数	21	14	35
B型陽性者	1	—	1
C型陽性者	—	—	—

### (2) 相談事業

#### ① 相談件数(実数)

(単位:件)

年 度	件 数 (実数)
平成 26 年度	12
平成 27 年度	8
平成 28 年度	6

## 10 千葉県肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎患者のインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成することにより、将来の肝硬変・肝がんの予防及び肝炎の感染防止、ひいては県民の健康の保持・増進を図ることを目的として申請を受付けている。

### 肝炎治療受給者証申請状況

(単位:件)

年度 \ 区分	申請件数	認定者数
平成 26 年度	390	359
平成 27 年度	599	582
平成 28 年度	438	428

## 11 難病対策事業

### (1) 指定難病医療費助成制度

平成 27 年 1 月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき千葉県が実施する指定難病医療費（特定医療費）助成制度の窓口業務及びそれに伴う事務処理を行い、難病の患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び難病の患者の療養生活の質の維持向上を図っている。平成 29 年 4 月から対象疾病が 306 疾病から 330 疾病に拡大された。

(単位：人)

年度	受給者数
平成 26 年度	4,215
平成 27 年度	4,236
平成 28 年度	4,377

※特定疾患受給者数を含む。

## (2) 難病相談事業

### ①在宅療養支援計画策定・評価事業

(単位：人)

年度	区分	支援計画策定 実施件数	支援計画評価 実施件数	構 成 員 延 べ 人 員				
				医師	保健師	看護師	ケアマネ	その他
平成 26 年度		18	18	15	11	28	14	85
平成 27 年度		12	12	8	4	29	10	70
平成 28 年度		16	16	5	16	18	15	91

### ②訪問相談員派遣事業

(単位：件)

年度	区分	訪問相談 実施回数	訪 問 相 談 従 事 者 延 人 員				
			保健師	看護師	介護福祉士	栄養士	その他
平成 26 年度		260	38	84	101	2	35
平成 27 年度		230	50	73	38	20	49
平成 28 年度		257	60	80	34	38	45

### ③講演会・医療相談事業

実施時期	実施会場	対象疾患・参加人数	実 施 内 容
平成 28 年 4 月 17 日	船橋市保健福祉 センター	筋萎縮性側索硬化症の患者及び家族 計 75 名	専門医による講演と交流会
平成 28 年 5 月 18 日	船橋市保健福祉 センター	神経・筋疾患系の患者及び家族 計 28 名	ハープ演奏と交流会
平成 28 年 11 月 1 日	船橋市保健福祉 センター	神経系の患者及び家族 計 42 名	理学療法士による講演 と交流会
平成 29 年 3 月 3 日	船橋市保健福祉 センター	神経難病患者及び家族 計 5 組	専門医による個別相談

### ④訪問相談員育成事業

実施時期	対象者	延人員(名)	実 施 内 容
平成 28 年 4 月 26 日	訪問相談員 (看護師等)	8	介護予防・日常生活支援総合事業について等
平成 28 年 10 月 13 日	訪問相談員 (看護師等)	8	障害福祉サービスについて等

⑤保健所保健師活動状況

(単位：件)

区分 年度	家庭訪問		窓口相談		電話相談	
	実数	延べ件数	実数	延べ件数	実数	延べ件数
平成26年度	46	61	28	40	110	201
平成27年度	66	124	23	31	201	450
平成28年度	52	121	51	71	107	508

⑥神経難病患者療養支援に係る意見交換会

実施時期	実施会場	参加人数	実施内容
平成28年 5月26日	船橋市保健福祉 センター	神経内科医 3名 船橋市医師会理事 1名 介護支援専門員 1名 看護師 1名 ソーシャルワーカー 1名 船橋市保健所他 13名	パーキンソン病の地域医療連携について
平成28年 11月17日	船橋市保健福祉 センター	医師 9名 神経内科医 3名 船橋市医師会理事 1名 介護支援専門員 1名 看護師 3名 ソーシャルワーカー 1名 相談員 1名 薬剤師 3名 船橋市保健所 13名	神経難病（パーキンソン病）・地域医療連携勉強会
平成29年 2月23日	船橋市保健福祉 センター	神経内科医 3名 船橋市医師会理事 1名 介護支援専門員 1名 ソーシャルワーカー 1名 船橋市保健所 14名	地域医療連携を推進するためのツールについて

(3)千葉県先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子障害等患者の治療に係る医療保険等の自己負担分を治療研究事業として公費負担することにより、患者の医療費の負担の軽減を図っている。

(単位：件)

年度	受給者数
平成26年度	10
平成27年度	10
平成28年度	12

## 1 2 小児慢性特定疾病児童等支援事業

小児の慢性疾病で治療が長期にわたり保護者の医療負担も高額となる特定疾病にかかっている児童の医療給付を行う。なお、小児慢性特定疾病医療費支給事業（国事業）に該当しなかった児童に対し、小児指定疾病医療費助成事業（市事業）を実施している。

### (1) 小児慢性特定疾病医療費支給事業及び船橋市小児指定疾病医療費助成事業受給者の状況

(単位：人)

疾患名	年度	平成 28 年度	
		国事業	市事業
1. 悪性新生物		58	18
2. 慢性腎疾患		37	21
3. 慢性呼吸器疾患		22	25
4. 慢性心疾患		126	9
5. 内分泌疾患		138	5
6. 膠原病		13	0
7. 糖尿病		31	2
8. 先天性代謝異常		19	0
9. 血友病等血液疾患		15	2
10. 免疫疾患		4	0
11. 神経・筋疾患		39	1
12. 慢性消化器疾患		26	3
13. 染色体又は遺伝子の变化に伴う症候群		4	16
14. 皮膚疾患		4	0
計		536	102

### (2) 小児慢性特定疾病審査会

(単位：人)

年度	区分	開催回数	審査人数	承認	不承認
平成 26 年 4 月～12 月		9	48	48 (2)	0
平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月		4	393	386 (97)	7
平成 27 年度		12	366	364 (110)	2
平成 28 年度		12	307	306 (106)	1

※平成 26 年 12 月 16 日までは船橋市小児慢性特定疾患対策協議会(旧制度)での開催。

※ ( ) は小児指定疾病医療費助成事業受給者の承認数。

### (3) 自立支援相談件数

平成 27 年 1 月の児童福祉法改正により、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業が法に位置づけられ、相談支援や意見交換会を実施している。

(単位：件)

区分 年度	窓口相談		電話相談	
	実数	延べ件数	実数	延べ件数
平成26年度	0	0	1	2
平成27年度	9	9	10	11
平成28年度	28	30	20	24

※平成26年度は平成27年1月～3月までの件数。

#### (4) 慢性疾病児童等の地域支援に関する意見交換会

実施時期	実施会場	参加人数	実施内容
平成28年 6月30日	船橋市保健福祉 センター	医師 2名 薬剤師 1名 訪問看護師 1名 教育機関 6名 福祉・療育行政機関 3名 保健行政機関 6名	各機関の取り組みや課題などの意見 交換 療育指導連絡票について 自立支援員の周知について
平成29年 2月16日	船橋市保健福祉 センター	医師 2名 歯科医師 1名 薬剤師 1名 訪問看護師 1名 教育機関 4名 福祉・療育行政機関 3名 保健行政機関 6名	医師講話「医ケア児への理解とライフ ステージを通じた支援」 アンケート結果報告と各機関の取り 組みや課題などの意見交換 医療的ケア児の事例の共有

### 1.3 難病患者援助金

特定医療費（指定難病）受給者証、船橋市小児慢性特定疾病医療受給者証又は、船橋市小児指定疾病医療費助成登録証等を交付されている患者に対し、入院10,000円（月20日以上入院）、通院5,000円（月1日以上通院）を申請により支給している。

#### 難病患者援助金支給状況（単位：件（=月数））

区分 年度	通院	入院
平成26年度	31,486	1,377
平成27年度	32,744	1,509
平成28年度	34,496	1,384

### 1.4 原子爆弾被爆者援護事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾被爆者への手帳の交付や、健康の保持・生活の維持のための各種手当の申請を受け付けた。

また、原子爆弾被爆者に対し、見舞金を支給している。

(1)被爆者健康手帳交付状況 (各年3月31日現在 単位:人)

区分 年度	新規	転入	転出	死亡	本年度末 手帳交付数
平成26年度	2	4	2	6	268(7)
平成27年度	—	1	1	8	256(7)
平成28年度	1	1	2	13	242(9)

※( )内は被爆者健康診断受診者証交付数。

(2)被爆者健康診断実施状況 (各年3月31日現在 単位:人)

区分 年度	施設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数	
平成26年度	保健所	前期	271	21	7.7	4
		後期	271	19	7.0	5
	委託医療機関	—	44	—	40	
平成27年度	保健所	前期	263	20	7.6	9
		後期	252	20	7.9	7
	委託医療機関	—	40	—	36	
平成28年度	保健所	前期	251	17	6.8	2
		後期	249	13	5.2	1
	委託医療機関	—	38	—	36	

(3)特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (各年3月31日現在 単位:件)

区分 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
医療特別手当	9	9	8
特別手当	1	1	1
原子爆弾小頭症手当	—	—	—
健康管理手当	202	196	185
保健手当	11	10	8
総数	223	216	202
介護手当	—	—	—
健康手当	212	206	194
葬祭料	6	13	8

※健康手当は県単独事業であり、総数に含まず。

(4)原爆被爆者見舞金支給状況

区分 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
支給者数	254	248	233



## 1 5 骨髄移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）の登録や移植の推進を図るため、啓発活動及びドナーとドナーが従事する国内の事業所に奨励金を支給している。

### (1)啓発事業

船橋市骨髄移植ドナー支援事業奨励金交付事業周知用チラシやドナー登録啓発物品の設置や配布をしている。

年度	主な場所
平成 28 年度	保健所 2 階ロビー、市内献血ルーム、健康まつり、ヘルシーフェア、成人の日式典、庁内献血

### (2)船橋市骨髄移植ドナー支援事業奨励金交付状況

支給額 ドナー 1 日につき 20,000 円（7 日が上限）  
ドナーが従事する事業所 1 日につき 10,000 円（7 日が上限）

年度	区分	ドナー（件）	ドナーが従事する事業所（件）	金額（円）
	平成 28 年度		6	2

## 1 6 精神保健福祉事業

### (1)相談状況

精神保健福祉法第 47 条の規定に基づき、市長が指定した精神科医師（相談医）、精神保健福祉士、保健師等により精神保健福祉に関する相談・訪問指導業務を実施した。

○精神科医師による相談

毎月 4 回

○精神保健福祉士・保健師による相談

電話・来所相談を随時実施

○精神保健福祉士・保健師による訪問

受診勧奨、受療援助、生活指導等を目的として実施

#### 精神保健福祉来所相談・訪問指導件数（単位：件、※）

年度	区分	実数	性別内訳		延べ数
			男	女	
平成 26 年度		460	236	224	1,167
平成 27 年度		473	225	248	1,104
平成 28 年度		504	257	247	1,217

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

【内 訳】

①平成 28 年度男女別年齢別来所相談・訪問指導件数

(単位:件、※)

区分	実数	男	女	延べ 数	男	女	年 齢				
							20歳 未満	20～ 39歳	40～ 64歳	65歳 以上	不明
来所	259	146	113	414	218	196	17	145	206	46	0
訪問	245	111	134	803	380	423	5	178	493	127	0
計	504	257	247	1,217	598	619	22	323	699	173	0

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

②平成 28 年度来所相談・訪問指導実施状況 (相談の種別)

(単位:件、※)

区 分	総 数	相 談 の 種 別						主 たる 問 題																
		診療に関する相談	社会復帰	生活支援	手帳・自立支援医療	その他の相談	精神疾患	アルコール	覚醒剤	その他の中毒	ギャンブル	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	摂食障害の相談	てんかん	(再掲)						その他の相談	
																	引きこもりの相談	発達障害	自殺関連	(再)自殺者の遺族	犯罪被害	災害		
来所	男	218	80	19	19	2	98	55	17	2	-	6	42	3	1	1	-	(10)	(9)	(-)	(-)	(-)	(-)	91
	女	196	71	17	15	-	93	81	3	-	1	-	31	4	3	1	-	(5)	(8)	(10)	(-)	(-)	(-)	72
	計	414	151	36	34	2	191	136	20	2	1	6	73	7	4	2	-	(15)	(17)	(10)	(-)	(-)	(-)	163
訪問	男	380	105	38	166	-	71	266	12	5	-	-	21	2	1	-	1	(2)	(10)	(13)	(2)	(-)	(-)	72
	女	423	158	34	148	-	83	332	2	-	-	-	12	1	3	-	3	(21)	(6)	(12)	(1)	(-)	(-)	70
	計	803	263	72	314	-	154	598	14	5	-	-	33	3	4	-	4	(23)	(16)	(25)	(3)	(-)	(-)	142
合計	1,217	414	108	348	2	345	734	34	7	1	6	106	10	8	2	4	(38)	(33)	(35)	(3)	(-)	(-)	305	

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

③平成 28 年度来所相談・訪問指導実施状況 (援助の内容別)

(単位:件、※)

区分	総 数	医学的 指 導	受 療 援 助	生 活 指 導	社会復 帰援助	紹 介 紹 介 連 絡	方 針 方 針 協 議	その他
来所	414	57	10	29	10	60	59	189
訪問	803	48	102	277	15	6	156	199
計	1217	105	112	306	25	66	215	388

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

④平成 28 年度電話相談件数 (単位:件)

区分	精神保健福祉相談
男	1,360
女	1,910
不明	30
合計	3,300

⑤精神科医師による相談 (単位:件)

年度	件数
平成 26 年度	36
平成 27 年度	23
平成 28 年度	46

(2)精神科医療等

※条文等は 28 年度現在

①医療保護入院に伴う市長同意状況

精神保健福祉法第33条第1項の規定による「医療保護入院」が必要であると認められた精神障害者に家族等がないとき、又はその家族等全員がその意思を表示することができないときは、同法第33条第3項の規定により市長が同意者となり、医療保護入院している。

医療保護入院に伴う市長の保護者同意件数 (単位:件)

年度	区分		
	依 頼	同 意	取下げ・却下
平成 26 年度	10	10	—
平成 27 年度	2	2	—
平成 28 年度	9	9	—

②法 27 条の規定による精神保健指定医の診察等に係る申請・通報・届出状況

一般人の申請（精神保健福祉法第 22 条）、警察官の通報（同法第 23 条）、精神科病院管理者の届出（同法第 26 条の 2）並びに医療観察法指定通院医療機関の管理者及び保護観察所の長の通報（同法第 26 条の 3）があった場合は、千葉県習志野保健所に連絡・報告し、必要に応じて県保健所職員に同行した。

法 27 条の規定による精神保健指定医の診察等に係る申請・通報・届出状況 (単位:件)

年度	区分	一般人 (22 条)	警察官 の通報 (23 条)	警察官の通報内訳		精神科病 院管理者 の届出 (26 条の 2)	医療観察法指 定通院医療機 関の管理者等 (26 条の 3)
				船橋警 察 署	船橋東 警察署		
平成 26 年度		1	119	42	77	—	—
平成 27 年度		—	166	42	124	—	—
平成 28 年度		—	346	83	263	—	—

### ③入退院届出等の状況

管内にある 3 つの精神科病院から入退院（任意入院を除く。）の届出等を受け、県へ提出した。

入退院届出等の状況

(単位:件)

区分 年度	医療保護入院届				応急入院届		医療保護 入院者の 退院届	措置症 状消退 届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告 書
	保護者同意		扶養義務者同意		指定 医	特定 医師				
	指定医	特定 医師	指定 医	特定 医師						
平成26年度	727	4	7	-	4	1	743	41	4	457

  

区分 年度	医療保護入院届		応急入院届		医療保護 入院者の 退院届	措置症 状消退 届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告 書
	指定医	特定 医師	指定 医	特定 医師				
	平成27年度	750	5	3				
平成28年度	802	4	4	-	785	49	2	461

※管内 3 病院のうち、2 病院が応急指定および特定病院の認定を受けている。

※平成 26 年 4 月の精神保健福祉法改正により保護者制度が廃止された。

### (3) 市長による成年後見人申し立て及び成年後見制度利用支援

成年後見人が必要にもかかわらず、身寄りが無いなどの理由により成年後見人の申し立てができない精神障害者に対して、市長が家庭裁判所に成年後見開始の申し立てを行った。また、申し立て費用や後見人に報酬を支払うことが困難な者に、費用の一部を助成した。

市長による成年後見人申し立て件数 (単位:件)

年 度	申 立	審 判	報酬助成
平成 26 年度	9	8	5
平成 27 年度	7	6	7
平成 28 年度	2	2	16

### (4) 精神障害者の社会復帰支援事業

回復途上の精神障害者の社会復帰の促進及び地域における自立と社会参加の促進を図り、社会生活への適応力を高めることを目的としてデイケアクラブを実施した。

デイケアクラブの活動状況

(単位:人)

区分 年度	開催回数	参 加 者					
		実 人 数			延 人 数		
		男	女	計	男	女	計
平成 26 年度	43	13	7	20	199	36	235
平成 27 年度	43	10	6	16	179	32	211
平成 28 年度	43	8	6	14	132	53	185

## 活 動 内 容

月	プ ロ グ ラ ム 内 容
4	ステンシルタオル作り、ゲーム、話し合い、お花見（アンデルセン公園）
5	工作、話し合い・ゲーム、心のふれあいフェスティバル、料理
6	ユニカール、ゲーム、話し合い、DVD鑑賞
7	ペタンク、暑中見舞葉書作り、映画鑑賞、話し合い
8	カード作り、話し合い、DVD鑑賞
9	勉強会、カラオケ、料理、話し合い、遠足（東京タワー他）
10	ペタンク、ステンシルタオル作り、卓球交流会、散歩、話し合い
11	心の健康フェア、オアシス20周年イベント参加、料理、話し合い
12	ボウリング、年賀状作り、忘年会
1	新年会・料理（合同新年会）、話し合い、こころの広場交流会
2	勉強会、絵本作り、ユニカール、話し合い
3	ゲーム、バスハイク（よこはま動物園ズーラシア）

### (5) 普及啓発事業

精神障害者に対する偏見、差別の解消のため、正しい知識の普及啓発を目的に講演会を実施した。

#### 普及啓発講演会

年 度	回数(回)	受講者数 (人)	内 容
平成 26 年度	1	53	演題「統合失調症を中心とした支援に関して～「当事者」中心の地域支援について～」
平成 27 年度	1	116	演題「焦らない、押し付けない、異文化を楽しむ～大人の発達障害とつきあうための3つのヒント～」
平成 28 年度	1	42	演題「ギャンブル依存症について～治療法と解決に向けて～」

### (6) 家族支援事業

精神障害者を抱える家族の不安軽減、適切な治療環境づくり及び社会復帰の促進を目指し、家族教室を実施した。

また家族同士の支えあい、交流の場を設けることで、家族の孤立感を軽減し家族が元気になることを目的に、こころの家族茶話会、家族による家族学習会を実施した。

#### ① 家族教室

年 度	回数(回)	受講者数 (人)	内 容
平成 26 年度	3	37	講演「統合失調について」
		33	講演「統合失調症を抱えた人への家族の対応」
		42	講演「アルコール・依存症に対する家族の理解と対応」
平成 27 年度	3	29	講演「統合失調症について」
		25	講演「統合失調症と家族の関わりについてパートⅠ」
		23	講演「講演パートⅠをもとに家族の関わりを共に考える」
平成 28 年度	3	47	講演「統合失調症の基礎知識と患者との関わり方について」
		28	講演「こころの病を抱えた人への家族の関わり方」
		25	講演「家族の関わりを共に考える」

## ②こころの家族茶話会

年 度	回数 (回)	受講者数 (延数・単位:人)	内 容
平成 28 年度	2	31	市内家市内家族会会員が当事者家族を迎え、家族同士で日頃の体験、悩んでいることや思っていることなどを自由に話しあい、共有する。

## ③家族による家族学習会

年 度	回数 (回)	受講者数 (延数・単位:人)	内 容
平成 28 年度	全 5 回	27	市内家族会と NPO 法人地域精神保健福祉機構との共催で、研修を受けた家族会会員が参加家族と共に、テキストの輪読と体験等の意見交換を行う。

## (7)船橋市地域活動支援センター

障害者総合支援法第 5 条第 26 項の規定に基づき設置し、相談支援事業、地域生活支援事業等を実施した。

○所在地：北本町 1 - 16 - 55 3 階

○指定管理者：NPO 法人 船橋こころの福祉協会

○内容：週間プログラム（生産活動、創作的活動、パソコン教室、料理、スポーツ）、フリースペース、電話相談、来所相談、指定相談支援事業

○平成 28 年度実績	・ 来所相談	627 件
	・ 訪問相談	1,061 件
	・ 通所者延人数（日常生活支援事業対象者）	4,781 人
	・ 指定相談(特定)支援事業利用者数	128 人

## (8)船橋市精神保健福祉推進協議会

医師会、医療機関、家族会、福祉関係学識経験者を委嘱して、精神障害回復者が社会復帰するために必要な福祉施策を推進し、市民の精神保健の増進を図るための事業を実施した。

○開催回数 委員会 2 回 幹事会 4 回

○実施事業

### ① 第 21 回精神保健福祉ボランティア養成講座

開催期間：平成 28 年 10 月 6 日～12 月 1 日（9 回講座）

内 容：講義、当事者・家族の話、見学実習等

修了者：22 人

### ②第 9 回スポーツ交流大会（卓球）

開催日：平成 28 年 11 月 8 日

場 所：総武病院 体育館

内 容：卓球競技、交流レクリエーション

参加者：98 人

③第 27 回こころの広場交流会

開催日：平成 29 年 1 月 27 日

場 所：西部公民館

内 容：活動等発表、作品展示ほか

参加者：256 人

④第 18 回心の健康セミナー

開催日：平成 29 年 3 月 9 日

場 所：船橋市保健福祉センター

内 容：演題

「あなたも働ける！～企業が取り組む精神障害者雇用と社員からのメッセージ～」

参加者：108 人

⑤冊子「市民のためのこころの健康・No. 29」刊行

発行年月日：平成 29 年 3 月 9 日

発行部数：6,000 部